

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

1 市民の健康づくりと交流の促進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所管
1	健康づくりの推進	「健康ふっさ21」の基本方針に基づいて、健康づくりのための活動を推進します。 (健康福生21)	健康づくりのための活動を推進します。	計画の推進	健康づくり講演会1回実施。 夏休みラジオ体操会を9会場で実施。 11月1日(日)に開催した「健康まつり(福生ふれあいフェスティバル)」に出店し啓発活動を実施。 あいさつ運動を4回実施。 こころの健康出前講座、食に関する出前講座を各4回実施。 健康ウォーキング事業を3回実施。	A		健康課
2	保健・医療体制の充実	夜間診療、救急診療、精神面のケア、リハビリテーション等の充実を関係機関へ要望していきます。	関係機関への要望、連携により、保健・医療体制の充実を図ります。	医療体制の充実	医師との健康増進事業、予防接種及び母子保健事業打合せ会議において、医療体制の充実を要望した。	B		健康課
3	保健センター機能の充実	「保健センター」の機能を充実し、健康づくりを推進します。	市全体の施設改修計画の中で施設改修等検討し、健康づくりの充実に努めます。	施設の改良	乳幼児から妊婦、高齢者まで様々な利用者が来所するので、玄関入口付近、受付、通用口に防犯カメラを設置し、安全対策を図った。	A		健康課
4	健康まつりの充実	各種団体など広範な協力と産業祭との共催により、「健康まつり」の充実を図ります。	市民の健康に対する認識が高まるよう、内容の充実を図ります。	継続実施	11月1日(日)午前10時から午後4時 市営野球場において、健康まつりを開催した。	A		健康課
5	健康づくり推進員活動支援の充実	市民の健康づくり事業を企画・立案して健康増進を推進する「健康づくり推進員」を配置し、市民による主体的な健康づくり事業の展開を支援していきます。	推進員の活動を支援していきます。	活動の推進	27年度末現在：79名	A		健康課
6	健康教育の充実	医師、歯科医師等による講演会、栄養士、保健師による講習、指導・助言、調理実習など、健康教育の充実を図ります。	多くの市民が参加しやすいように実施方法や場所を工夫して実施します。	140回実施	131回実施	A		健康課
7	健康相談の充実	保健師、栄養士等による「総合健康相談」の充実を図ります。	多くの市民が利用しやすいように実施方法や場所を工夫して実施します。	76回実施	68回実施	B		健康課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

1 市民の健康づくりと交流の促進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
8	各種健康診査・ 検診等の事業	特定健康診査・特定保健指導や後期高齢者健康診査、がん検診、歯科検診などの各種健康診査・検診等について、事業内容の充実を図ります。	受診率の向上、事業内容の充実を図ります。	受診率の向上	各種検診受診率 特定健診：46.4% 特定保健指導：14.4% 後期高齢者健診：56.6% 胃がん検診：1.6% 肺がん検診：1.6% 大腸がん検診：21.8% 乳がん検診：4.6% 子宮頸がん検診：3.4% 成人歯健康診査：4.4% 高齢者歯科健康診査：3.9%	A		健康課
9	かかりつけ医の 普及	医療機関が保管する資料等により、適切な治療が受けられるよう、「かかりつけ医」の普及を図ります。	健診・健康教育相談等あらゆる機会に「かかりつけ医」の必要性を啓発し、医師会と連携しながら普及促進を図ります。	普及の定着	健康教育・健康相談の際、かかりつけ医の必要性について啓発を行った。	A		健康課
10	「介護予防」等 の推進	高齢者等に対する健康づくりの取組みを進めて、介護予防、身体障害の発生等の予防を図ります。	高齢者筋力向上トレーニング教室、お口と食のはつらつ教室、脳と体のいきいき教室等の事業を実施し、介護予防教室への参加を促進します。	継続	筋力向上トレーニング教室：546名 お口と食のはつらつ教室：47名 脳と体のいきいき教室：86名	A		介護福祉課
11	こころの健康づ くりの推進	保健所、社会福祉協議会等関係機関と連携し、各種相談窓口等で情報提供などを行い、こころの健康づくりを推進します。	健康づくり推進員を中心に「心の健康」に関する活動を実施していく	講演会等によりこころの健康についての普及啓発	こころの健康づくりとして、睡眠をテーマに講演会を健康づくり推進員と共同で実施。 健康づくり推進員によるあいさつ運動を実施し、「こころの健康」に関する啓発を行った。 「こころの健康づくり」をテーマに健康づくり推進員と共に出前講座を実施。	A		健康課 障害福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

2 見守り活動等の促進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	見守りネットワークづくり	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守るネットワークづくりを進め、確立します。	地域住民、ボランティア、町会・自治会、老人クラブ、民生委員・児童委員等の協力を得て、見守り活動の充実を図ります。	組織的活動の普及	各種団体等と見守り協定を締結した。	A		介護福祉課
2	認知症ケアのネットワークづくり	認知症を予防し、また発症した場合の進行を遅らせるため、認知症への対応、認知症ケアに関するネットワークづくりを進めます。	在宅介護支援センター機能等も考慮し、事業内容を検討のうえ、情報交換、交流ができる体制整備を図ります。	体制整備	認知症サポーター養成講座を職員、市民、企業向けに実施し、体制整備の準備を進めた。 講座実施回数：年10回 受講者数：465人	A		介護福祉課
3	虐待防止のネットワークづくり	児童や高齢者、障害のある人への虐待の防止と早期発見・早期対応を目指し、関係機関との連携による虐待防止のネットワークづくりを進め、確立します。	関係機関連絡会等を随時開催し、虐待の防止のネットワークづくりを進めます。	継続して実施	要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、実務担当者会議を4回開催。要保護児童対応マニュアルを活用し、関係機関との連携に努めた。 関係者向け研修会「子どもの発達支援について」及び、市民対象の講演会「子どもの心をつかむ♥接し方～遊び心を大切にしたい楽しい活動から～」を開催し、虐待防止の推進を図った。 識見を有する者、介護サービス事業者など、13人の委員で構成された高齢者虐待防止連絡会議を実施（1回）し、福生市の高齢者虐待の現状についてなどの報告を行った。 障害者虐待防止センター 相談件数：0件 地域自立支援協議会の中で、事例検討を行った。	A		子ども家庭部 介護福祉課 障害福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

2 見守り活動等の促進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
4	町会・自治会等への支援と協働活動の推進	地域の福祉のにない手となる町会・自治会等地域の団体の組織・活動の発展のために必要な支援を行い、また、必要に応じて協働活動を展開します。	町会・自治会の地域福祉活動との協働化を図り、町会・自治会の組織及び活動の発展のために必要な支援をします。	継続して実施	33町会・自治会が行う活動に対して補助金を交付した。 ＜活動内容＞ ・行政連絡事項に関する周知活動 ・関係機関等との協調に関する活動 ・町会運営に関する活動 ・その他市が特に依頼する事業に関する活動 交付額：3,216,760円	A		協働推進課
5	児童の健全育成の充実	家庭、地域住民、青少年育成地区委員長会、町会・自治会、学校、行政等関係機関の連携強化により、児童の健全育成対策の充実に努めます。	輝きフェスティバル等の行事への支援、夜間パトロールの実施などを支援します。	児童の健全育成対策の充実、パトロール体制の充実	青少年問題協議会において、青少年の健全育成に関する課題についての講演会を実施した。また、夏休みに起こりやすい非行や問題行動を未然に防止するため、夏季対策パンフレットを6,000部作成し、市内小・中学校、町会・自治会及び児童館・図書館等に配布した。 青少年育成地区委員長会実施事業への支援として、輝きフェスティバルを5月17日、夜間パトロールを8月22日に実施した。 （軽スポーツ&とん汁会は、11月15日実施予定で準備を進めていたが、雨天の為中止） 家庭と子どもの支援員及びスーパーバイザー計22名を市立小・中学校全校に配置し、不登校や生活指導上の課題に対応した。 （家庭と子どもの支援員） 人員：16名／活動時間：2,806時間30分 （スーパーバイザー） 人員：6名／活動時間：38時間	A		子ども育成課 協働推進課 生涯学習推進課 教育支援課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

3 地域の安全と災害時を想定した対応

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	安全・安心なまちづくりの推進	犯罪防止のための地域における自主的な活動の推進、学校等における安全の確保等総合的に施策を展開し、市民が安心して生活できる環境の整備を図ります。	34の町会・自治会によるパトロールを実施していきます。	33の町会・自治会によるパトロールを実施する。	29の町会・自治会によるパトロールを実施した。	B		安全安心まちづくり課
2	子どもを守るための活動の推進	防犯講習会等を通して、犯罪に関する市民への情報提供に努め、関係機関・団体との情報交換、防犯ボランティアによるパトロール活動、「子ども110番の家」事業など、子どもを守るための活動を進めます。	関係機関・団体の連携強化による地域での活動の推進と地域住民、商店等での「子ども110番の家」事業などを推進していきます。	防犯講習会を実施し、「子ども110番の家」登録数を増やす。	≪防犯講習会の実施≫ 平成27年11月17日（火）に市民会館小ホールにて実施。 ≪子ども110番の家≫ 平成28年3月末現在の市民及び市内事業所の登録件数：1,061件	A		安全安心まちづくり課
3	交通安全教育の推進	地域や団体、事業所等における交通安全思想の普及・徹底を図り、学校・保育園等での交通安全教育を推進します。	交通安全運動の充実、地域や学校・保育園等での交通安全教室の定期的な開催を図ります。	交通安全講習会を実施し、33町会・自治会による交通安全の推進、中学生への交通安全教室の開催をする。	9月と3月に交通安全講習会を実施。春、秋の交通安全運動期間中に30町会・自治会によるテントの掲出。6月8日（月）に福生第三中学校において、スクアード・ストレート方式による交通安全教室を実施。	A		安全安心まちづくり課
4	訪問販売等悪質商法取引等への対応	訪問販売等悪質商法取引等による被害を防止するとともに、購入契約等を結んでも解約できることや相談体制があることを、高齢者世帯等に周知します。	市の広報や老人クラブ等を通して、高齢者等に情報を提供します。	情報提供の充実	敬老大会及び老人クラブ会長会、健康まつり等を通して、高齢者にパンフレット配布等による情報提供を行った。配布数：約1,200枚	A		介護福祉課
5	緊急通報システムの充実	ひとり暮らし等の高齢者、在宅重度身体障害者及び難病患者等に専用無線発報器を貸与することにより、緊急事態に陥ったとき消防庁へ通報するとともに、地域の協力員の援助を受け、救急車による病院への搬送に対応します。	制度の普及に努めるとともに、協力ボランティアの確保に努めます。	高齢者：25台 障害者：1台	高齢者及び障害者に対し、制度の普及活動を実施した。計画の台数は予算措置分の台数であり、該当する全ての利用申請者に対して設置した。高齢者：12台 障害者：0台	B		介護福祉課 障害福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

3 地域の安全と災害時を想定した対応

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
6	火災安全システムの整備	緊急通報システム機器に住宅用火災警報器を接続することにより、火災の発生を東京消防庁に自動通報するシステムを、高齢者のみ、及び18歳以上でひとり暮らしの重度心身障害者宅に設置します。	利用対象者を把握し、火災安全システムの整備を図ります。	高齢者：5台 障害者：1台	高齢者及び障害者に対し、制度の普及活動を行った。 計画の台数は予算措置分の台数であり、該当する全ての利用申請者に対して設置した。 高齢者：火災警報器1台（電磁調理器1台） 障害者：0台	B		介護福祉課 障害福祉課
7	自主防災組織への支援	「福生市地域防災計画」に基づき、地域住民による自主防災組織が行う消火・救援活動を支援するため、技術的指導や資機材の整備助成等に努めます。	住民の自主性を尊重し、地域の状況に応じた事業を行っていきます。	運営費補助金を交付し、自主的な活動を支援する。	自主防災リーダー講習会を開催した（参加者54人）。機材の修繕を行った。	B		安全安心まちづくり課
8	災害時の要援護者支援体制の整備	消防署、消防団、警察署、民生委員・児童委員、地域住民、ボランティア等と連携し、災害時要援護者の把握に努め、支援体制を整備していきます。	災害時要援護者の把握に努め、体制を整備します。	個人情報の更新、蓄積を行い、災害時に備える。	要援護者システムへの入力作業を行い、情報の更新を行った。	A		安全安心まちづくり課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

4 相談体制・情報提供の充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	保健福祉の相談体制の充実	保健福祉に関する様々な相談が身近なところで気軽にできるよう、窓口の充実に努めるとともに、相談体制のネットワーク化を推進します。	関係機関、関係者の相互理解と連携強化、相談内容に応じた窓口の整備に努めます。	継続して実施	関係機関、関係者の相互理解と連携を強化し、相談内容に応じた窓口の整備に努めた。 子ども家庭支援センターでは、身近な相談機関として、子どもと家庭からの総合的な相談に応じ、支援を行った。相談内容に応じて必要時間関係機関と連携を図った。 相談件数：8,358件	A		福祉保健部 子ども家庭部
2	相談員等の資質向上のための支援と周知	民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員をはじめとする相談員や各相談窓口の職員等に対してその資質の向上を支援していくとともに、市民への広報・周知を図り利用を促進します。	相談員等が研修会などに参加し、資質の向上を目指すとともに、PRに努めてまいります。	継続して実施	民生委員・児童委員や各相談員が、必要な知識の習得やスキルアップのために研修に参加した。	A		福祉保健部 子ども家庭部
3	福祉センター機能の充実	高齢者、障害のある人、児童及び子育て中の保護者等の生活相談、健康の増進、サービス提供の充実等に努めるとともに、福祉活動団体の育成、地域住民等の施設利用を促進します。	地域における高齢者、障害のある人、児童及び子育て中の保護者等の生活の質向上への支援拠点として役割を果たすよう、機能やプログラムの充実を図ります。	継続して実施	高齢者サービス等延利用者：70,056人 障害者の生活介護・地域活動支援センター事業を実施 生活介護支給決定者数：101人 地域活動支援センター支給決定人数：6人	A		介護福祉課 障害福祉課 子ども家庭支援課
4	子ども家庭支援センター事業の推進	子どもと家庭に関する総合相談など、児童を養育する家庭を支援するため、子育て支援の総合的な機能を持つセンターを目指します。	総合相談業務体制の充実を図ります。	継続して実施	身近な相談機関として、子どもと家庭からの総合的な相談に応じ、支援を行った。相談内容に応じて必要時間関係機関と連携を図った。 相談件数：8,358件 ふれあいひろば利用者：6,748人（大人2,623人、子ども4,125人） 乳幼児ショートステイ利用：32件 育児支援家庭訪問事業利用：3件 乳幼児総合相談：11回・参加者225人（大人107人、子ども118人） 子育てなんでも相談：12回・利用者118人（大人59人、子ども59人）	A		子ども家庭支援課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第1節 市民が元気に安心して暮らせるまちづくり

4 相談体制・情報提供の充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
5	学校教育相談室の充実	不登校等生徒の心の問題解決のため、「教育相談室」の相談体制等の充実を図るとともに、スクールカウンセラーを中心とした各学校の相談体制の充実を図ります。	「教育相談室」の相談員等相談体制充実を図ります。全中学校での、相談員及びスクールカウンセラーの恒常的配置を図ります。	継続	市立小・中学校全校に東京都スクールカウンセラーを配置し、専門的な見地から教育相談活動を実施した。 相談件数 (小学校) 2,359件 (中学校) 835件 家庭と子どもの支援員及びスーパーバイザー計24名を市立小・中学校全校に配置し、不登校や生活指導上の課題に対応した。 (家庭と子どもの支援員) 人員：17名 活動時間：2,806時間30分 (スーパーバイザー) 人員：7名 活動時間：38時間	A		教育支援課
6	保健福祉サービスや施設案内の充実	読みやすい広報誌づくりとともに、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し、保健福祉サービスや施設等の利用案内を充実させます。また、点字版やSPコード付きのパンフレットの作成など、情報の入手が困難な市民への支援を強化します。	ホームページ等の充実を図るとともに、老人クラブや障害者団体等を対象とした説明会等の開催に努めます。	継続して実施	広報、ホームページ、情報メールなどで情報発信を行うとともに、子育て支援情報を掲載した子育てハンドブックを配布し情報提供に努めた。	A		福祉保健部 子ども家庭部
7	女性悩みごと相談	羽村市と共同で、女性の家庭や職場での悩み、生き方についての悩みなどに対する相談を実施します。	市民へのPRに努め、関係機関と連携し、女性の悩みごと解決を支援します。	継続して実施	羽村市と共同で実施 福生市民の相談：述べ36人	A		社会福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第2節 誇りある福祉のまちづくり

1 「福祉文化」の醸成

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	学校教育における福祉教育の充実	総合的な学習の時間や特別活動でのボランティア体験学習や障害者との交流学习、高齢者などから学ぶ地域文化の伝承学習などを通して福祉教育の充実に努めます。	高齢者や障害のある人を学校に招いたり、児童生徒が地域の高齢者や障害のある人とふれあったりする機会を全校で計画します。	交流促進	10校実施 児童・生徒が社会の一員として自覚を高め、健全で豊かな心をはぐくむことをねらいとして、学校と地域が協力して社会体験や自然体験活動、奉仕・体験活動などを実施した。	A		教育指導課
2	学校教育におけるバリアフリーなどの推進	高齢者や障害のある人への「思いやりの教育」を学習にとり入れ、「ノーマライゼーション」、「バリアフリー」等について指導します。	ボランティア教育や障害のある人との交流教育などの福祉教育を通して、子どもの頃からの「心のバリアフリー」を推進します。	全校での推進	10校実施 児童・生徒が社会の一員として自覚を高め、健全で豊かな心をはぐくむことをねらいとして、学校と地域が協力して社会体験や自然体験活動、奉仕・体験活動などを実施した。	A		教育指導課
3	社会教育における福祉教育の充実	各公民館が連携、調整して、「心のバリアフリー」等や「互いに支え合い、共に生きることができる社会」等の実現をめざし、福祉教育の充実に努めます。	福祉講座等メニューの充実を図ります。	一般対象 1コース 青年学級 にじのはらっぱ 1コース	地域福祉講座「知っておこうセーフティネット制度」（1コース・3回）46人参加 青年学級にじのはらっぱ（1コース18回）286人参加	A		公民館
4	福祉まつりへの支援	市民の福祉への理解・認識を高めるため福祉まつり実行委員会が実施している「福祉まつり」を支援します。	多くの市民が参加し、福祉への理解を深めることができるよう、内容の充実に努めます。	内容充実への支援	福祉まつり実行委員として企画段階から参加するとともに、参加団体としても各課から参加した。 福祉まつり参加数 77団体・来場者1,300人	A		介護福祉課
5	各種イベントの紹介	地域への愛着を高め、交流の機会を増やすため、広報等で地域の行事・イベント等の紹介を行っていきます。	生涯学習や社会福祉活動に広く市民を対象とした情報を掲載する「市民のひろば」を、広報ふっさ・ホームページに登載し、地域の代表的な行事・イベントや市民の身近な情報等を紹介していきます。	広報ふっさの「市民のひろば」の充実	広報ふっさの「市民のひろば」で催し物案内15件、会員募集18件を掲載し、広報ふっさをホームページに登載した。	A		秘書広報課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第2節 誇りある福祉のまちづくり

1 「福祉文化」の醸成

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
6	地域福祉推進の マネジメントサイ クルの確立	事業の実施状況等を公表し、事業の見直し や新たな事業の展開を行うことによって、 地域福祉を推進します。	事業の実施状況を福生市地 域福祉推進委員会に報告 し、市民に公表します。	継続して実施	地域福祉計画、バリアフリー推進計画の推 進状況を地域福祉推進委員会に報告した。 また、市ホームページに掲載した。	A		社会福祉課
7	市組織の対応	職員がバリアフリーについての共通認識を 持ち、全庁をあげてバリアフリーを推進し ます。	職員の「バリアフリー」等 の意識の徹底、バリアフ リー年次計画の作成のほ か、情報面、施策面におけ るバリアフリー等の推進、 「心のバリアフリー」等の 普及に努めます。	継続して実施	バリアフリー推進事業調査を実施する中で 意識の徹底を図るため、全課へ調査内容を 送付し職員に啓発を図った。	B		社会福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第2節 誇りある福祉のまちづくり

2 バリアフリーの推進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理由・課題	所管
1	市役所におけるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	職員がバリアフリー・ユニバーサルデザイン等についての共通認識を持ち、本計画や『福生市バリアフリー推進計画』に基づいて全庁を挙げてバリアフリー・ユニバーサルデザイン等を推進します。	職員のバリアフリー・ユニバーサルデザイン意識の徹底、整備年次計画の作成のほか、情報面・施策面におけるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進、「心のバリアフリー」「心のユニバーサルデザイン」の普及に努めます。	継続	市役所の施設状況、市民対応などを意識し、継続して推進している。 また、選挙管理委員会事務局では、入院中の人、重度の障害がある人、要介護の人等の方の不在者投票案内や代理・点字投票について、お知らせ版、ホームページへの掲載など普及に努めた。	A		全課
2	建築物の整備	学校も含め、市建築物のバリアフリー整備を進めます。	簡易な箇所の早急な整備、昇降設備の設置、トイレの改良整備等、バリアフリー化、ユニバーサルデザインを図ります。	もくせい会館建設事業（工事）、第二市営住宅エレベーター、設置工事（A棟）実施設計、三中便所改良（工事）	もくせい会館建設事業費 実施設計：19,440,000円 （設計費除く）200,796,277円 第二市営住宅A棟エレベーター設置事業 実施設計：1,886,760円 第三中学校便所改良（工事） 88,053,480円	A		契約管財課 まちづくり計画課 教育総務課 施設課
3	体育施設の整備	誰もが支障なく行くことができる施設の整備を進めます。	敷地内通路の整備、観戦スペースの確保等を図ります。	—		—		スポーツ推進課
4	鉄道駅の整備	利用者等の意見、要望を基にだれもが支障なく利用できる鉄道駅の整備について、要望を継続していくとともに、実現に向けた支援を図ります。	駅および周辺道路、広場等の重点的なバリアフリー等を推進します。	—		—		まちづくり計画課 道路公園課 施設課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第2節 誇りある福祉のまちづくり

2 バリアフリーの推進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理 由・課題	所 管
5	都市公園の整備	だれもが行きたくなるような公園の整備を進めます。	利用者特に高齢者や障害のある人の参画のもとに安全性・快適性を重視し、可能なことから整備を進めます。	—		—		道路公園課
6	道路の整備	だれもが利用しやすく、出かけたくなるような道路の整備を進めます。	市民の視点に立った道路づくり、区域等を定めた整備を進めます。	市道幹線Ⅱ-19号線外1路線改良事業（工事3・4区）事業完了	市道幹線Ⅱ-19号線外1路線改良事業（工事3区、第4区一部）	A		道路公園課
7	「心のバリアフリー」・「心のユニバーサルデザイン」の推進	ボランティア教育や障害のある人との交流教育などの福祉教育を通して、子どもの頃からの「心のバリアフリー」「心のユニバーサルデザイン」を進めます。	高齢者や障害のある人への「思いやりの教育」を学習にとり入れ、全校で進めていきます。	全校での推進	10校実施 児童・生徒が社会の一員として自覚を高め、健全で豊かな心をはぐくむことをねらいとして、学校と地域が協力して社会体験や自然体験活動、奉仕・体験活動などを実施した。	A		教育指導課
8	市民参加によるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	市民一人ひとりの自発的な実践による「心のバリアフリー」「心のユニバーサルデザイン」を含めたバリアフリー化、ユニバーサルデザインの推進に努めます。	民間事業所、店舗等のバリアフリーの推進、歩道への自転車や物品等の放置、植木などはみ出しなどの迷惑行為防止を図るとともに、いじめなどをなくす取組に努めます。	継続実施	放置自転車対策の一環として、東福生駅自転車駐車場の設置工事を開始した。	A		安全安心まちづくり課 社会福祉課 障害福祉課 施設課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第3節 福祉サービス等支援の充実したまちづくり

1 福祉サービスの質の向上と利用者の保護

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理由・課題	所管
1	保健福祉施策の点検	施策を常に点検し、市民の視点に立ったサービスの提供、サービスの質の向上に努めます。	市民、サービス事業者、関係機関の意見を参考に施策を点検します。	地域福祉計画、バリアフリー推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施	地域福祉計画、バリアフリー推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施した。 意見数 地域福祉計画：7件 バリアフリー推進計画：4件 地域自立支援協議会で、障害福祉計画の意見聴取を行った。	A		福祉保健部 子ども家庭部
2	事務事業評価制度の活用	市の事務事業評価制度を活用しながら、保健福祉サービスの充実を図ります。	制度を活用し、サービスを充実します。	継続して実施	制度を活用した。	A		福祉保健部 子ども家庭部
3	社会福祉法人との協働活動の推進と支援	社会福祉協議会等社会福祉法人を支援することにより、福祉サービスの質の向上と量の確保を図ります。	事業の充実を図るため、必要に応じた支援に努めていきます。	支援の継続	補助金交付を交付した。 法人地域社会福祉協議会補助金 30,479,593円	A		介護福祉課
4	国・都への要請	国及び東京都に対し、引き続き、福祉サービス充実のための支援を含め、手当、助成等の充実を要請していきます。	制度改正等を踏まえた要請を行っていきます。	継続して実施	手当、助成等について要請を行った。	A		福祉保健部 子ども家庭部
5	サービス提供主体の調整	サービス提供主体間の調整力や連携を強化します。	行政と事業者、事業者間の連絡体制を強化していきます。	継続して実施	障害福祉サービス指定事業所連絡会と情報共有を図った。 福生市保育協議会等を通じ、情報の共有化を図った。	A		福祉保健部 子ども家庭部
6	第三者サービス評価制度の活用	福祉サービスの向上を図るため、第三者による評価制度活用を促進します。	認証保育所や高齢者の施設等で活用している制度の市の各施設への拡大について検討し、民間事業者へ制度活用を奨励します。	継続して実施	日中活動系サービス事業所に対し、補助金を支給した（3件、1,787,682円）。また、制度の紹介をホームページに掲載し周知した。	A		福祉保健部 子ども家庭部

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第3節 福祉サービス等支援の充実したまちづくり

1 福祉サービスの質の向上と利用者の保護

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理由・課題	所管
7	モニター制度の創設	保健福祉サービスの質の向上に向け、市民による「モニター制度」を創設します。	依頼方法、実施方法等を検討します。	検討	各計画のパブリックコメントの実施状況等を勘案し、引き続き検討を行った。	B		社会福祉課
8	保健福祉ニーズ、サービス効果の調査等の実施	市民の意見や保健福祉サービス等に関するニーズを把握するため、アンケート調査等を実施します。	定期的な調査の実施と必要に応じた特定の保健福祉サービスに関する調査の実施に努めます。	—	健康ふっさ21改定に関わる、市民の健康（食事・運動など）に関するアンケート調査を実施した。 対象：20歳以上、2,000人（無作為抽出） 回答率：36.9%（738人）	A		社会福祉課 健康課
9	福祉サービス総合支援事業の推進	判断能力が十分でない人を対象に成年後見相談、苦情相談、権利擁護相談、地域福祉権利擁護事業など、総合的な福祉サービス支援事業を実施し、推進します。	「成年後見センター福生」の事業として社会福祉協議会に委託して実施します。	継続して実施	社会福祉協議会に委託して実施 相談件数：延805件	A		社会福祉課
10	地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が十分でないため、介護サービスや福祉サービスを独力で利用することが困難な人を対象とする「地域福祉権利擁護事業」（日常生活自立支援事業）を支援し、事業の円滑な推進を図ります。	福祉サービス総合支援事業のひとつに組み入れ、より一層の充実を図ります。	継続して実施	成年後見センター福生にて実施 相談件数：延188件	A		社会福祉課
11	「成年後見制度」利用の支援・促進	「成年後見制度」の周知と利用促進を図り、認知症の高齢者や障害のある人等への支援を図ります。	「成年後見センター福生」のPRを充実し、制度の周知を図ります。また、「法人後見」のしくみの導入・実施等につき研究・検討を行うとともに、「社会貢献型後見人」の養成も図ります。	成年後見センターの法人監督受任を目指す。	研究・検討を引き続き実施した。	B		社会福祉課 障害福祉課 介護福祉課
12	障害者グループホーム等の設置誘導	知的障害者、精神障害者や身体障害者が家庭的な雰囲気の中で地域での自立をめざして生活できるよう、グループホーム等の設置誘導に努めます。	入所希望数等の把握に努め、民間活力を活用したグループホーム・ケアホームの設置誘導を図ります。	適正な施設運営指導	グループホーム市内6箇所 支給決定者56人	A		障害福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第3節 福祉サービス等支援の充実したまちづくり

1 福祉サービスの質の向上と利用者の保護

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理 由・課題	所 管
13	地域自立支援協 議会の設置・ ネットワークの 構築	障害者自立支援法に基づき地域生活支援事 業等の相談支援体制の構築を図ります。	「福生市地域自立支援協議 会」を設置し、行政・相談 支援事業者・サービス事業 者間の連携を緊密にし、相 談支援事業を効果的に運営 していきます。	活動の充実	年6回の定例会を開催。その中で事例検討や 情報交換を行い、関係機関連携の構築に努 めた。	A		障害福祉課
14	日中活動系サー ビスの充実	生活介護、自立訓練（機能訓練・生活訓 練）、就労移行支援、就労継続支援、療養 介護、短期入所などにより、日中活動系 サービスの充実を図ります。	「地域活動支援センター」 など日中活動の場の確保、 「生活訓練」など各種支援 サービスの実施により地域 生活の基盤を整え、サービ スの充実に努めます。	サービスの充実	《支給決定者》 生活介護：101人 自立訓練：9人 就労移行：18人 就労継続：125人	A		障害福祉課
15	精神障害者地域 活動支援セン ターの充実	地域で暮らす精神障害者の日常生活を支援 するため、相談、情報提供、サービスの利 用援助等を総合的・効果的に提供する「地 域活動支援センター」の充実を図ります。	『精神障害者地域活動支援 センター ハッピーウイ ング』における相談支援事業 の充実を図ります。	継続して実施	『精神障害者地域活動支援センター ハッ ピーウイング』における相談支援事業とし て、安心して過ごせる場所、参加しやすい ように配慮した各種活動・自主活動の支 援、総合的な相談支援や日常生活全般にお ける相談支援を実施した。 相談支援延人数：5,570人	A		障害福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第3節 福祉サービス等支援の充実したまちづくり

2 ボランティア活動等の振興

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	市民の主体的福祉活動への支援	市民の主体的な福祉活動は、地域の福祉力を強めるうえでの不可欠な活動であることから、地域住民の主体性と創造性・開拓性を尊重しながら、効果ある活動のための支援を行います。	社会福祉協議会と協力し、市民の主体的な福祉活動の必要性を広報、市民学習会等で強調するとともに、見守り活動、ふれあい活動、支えあい活動のよい事例を紹介するなど努めます。	継続的な啓発・PRの拡大	各種媒体を利用し、啓発、PRに努めた。 広報紙「アクション」発行：6回 メールマガジンの配信：11回	A		介護福祉課
2	市民の自主的なコミュニティづくりへの支援	地域福祉の増進及び地域の活性化を図るため、市民の自主的なコミュニティづくりを支援します。	町会・自治会等への支援充実と併せて、地域でテーマごとに行われている自主的な活動を支援します。	補助金交付	地域社会における住民の福祉の増進や連帯意識の高揚を図るために町会・自治会が行う各種事業に対し交付金を交付し、地域の活性化を図った。 対象事業：環境衛生、健康増進、交通安全・防犯、教養・親睦、広報・広聴、その他地域住民の福祉の増進に関する事業 交付対象：33町会・自治会 交付額：9,007,408円	A		協働推進課
3	ボランティア活動への支援	社会福祉協議会等関係機関と連携し、地域福祉の担い手となるボランティア等の活動を支援します。	活動しやすい環境の整備を図り、市民の活動への参加を促進します。	補助金交付	ボランティア活動推進事業補助金 12,979,000円	A		介護福祉課 協働推進課
4	地域リーダーの育成と市民参加の促進	福祉活動をになうリーダーを育成し、市民参加の促進を図ります。	ボランティア講座や福祉関連講座、講演等の充実を図る。	講演・講座等の充実	公民館サークルと社会福祉課と連携し、地域福祉講座「知っておこうセーフティネット制度」 1コース・3回・46人参加	A		公民館
5	シルバーボランティア活動の促進	高齢者の能力活用や生きがいの高揚のため、ボランティア活動への啓発に努め、生活の知恵や地域文化の伝承などの活動を広げます。	老人クラブ等を通してシルバーボランティア活動の普及を図ります。	介護サポーター事業の継続	介護サポーター登録者数：38人	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第3節 福祉サービス等支援の充実したまちづくり

2 ボランティア活動等の振興

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
6	児童生徒のボランティア活動の促進	学校教育での福祉教育の充実を図るとともに、特別活動等を通して、校舎内外の美化活動、老人ホーム等への慰問活動等を推進します。	市立小中学校全校児童生徒のボランティア活動への参加を促進します。	活動の促進	10校実施 児童・生徒が社会の一員として自覚を高め、健全で豊かな心をはぐくむことをねらいとして、学校と地域が協力して社会体験や自然体験活動、奉仕・体験活動などを実施した。	A		教育指導課
7	市民活動の場の整備	ボランティア、NPO法人等、市民活動団体の相互交流と活動の促進を図るため、活動の場を整備します。	市民が自由に地域福祉活動等に参加できるよう、活動の場を整備します。	継続して実施	輝き市民サポートセンター事業の充実を図った。 市民活動相談：随時 市民活動支援講座：4回 市民活動プレゼンテーション：1回	A		協働推進課
8	世代間交流の促進	児童と高齢者、障害のある人等との交流や団体での活動等を通して、世代間交流を促進します。	保育園、幼稚園、学校のクラブ、学童クラブ等の福祉施設への訪問や老人クラブの保育園や幼稚園への訪問、地域での行事等の開催を促進します。	交流充実	保育園では、老人ホーム訪問や近隣の高齢者宅への配食サービス等の地域活動（世代間交流事業）等を実施した。	A		障害福祉課 介護福祉課 子ども育成課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第3節 福祉サービス等支援の充実したまちづくり

3 関係機関等との連携強化と新たな活動への支援など

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	関係機関・団体との連携強化	社会福祉協議会をはじめ、民生委員・児童委員、ボランティア、福祉保健関係機関、団体、サービス提供事業者とのいっそうの連携強化を図ります。	情報交換、連絡会等の充実により連携を強化していきます。	継続して実施	地域自立支援協議会の開催のほか、各障害者団体の事業協力を行った。 保育団体連絡会に参加することで、市内の子育て関連団体との情報交換を図った。	A		福祉保健部 子ども家庭部
2	小地域福祉活動推進への支援	高齢者や障害のある人、児童等を対象とした地域での見守り活動、「ふれあいいきいきサロン」、「子育てサロン」等地域の憩いの場づくり、交流の場づくりなど、社会福祉協議会が推進している小地域福祉活動を支援していきます。	活動地区の増と参加者の増を目指し、活動を支援していきます。	30地区	16地区 活動回数：246回	B		介護福祉課 障害福祉課 子ども家庭支援課
3	民生委員・児童委員への支援と協働活動の推進	相談・情報の提供、サービス利用支援、実態調査、緊急活動などの活動を強化していくため、民生委員・児童委員の活動を支援し、また、必要に応じて協働活動を展開します。	活動、研修参加に対する支援の充実を図ります。	継続して実施	積極的な活動支援及び協働して活動を行った。（東日本大震災子ども応援募金駅頭活動、市役所ロビーでのPR活動、輝きフェスティバル参加など）	A		社会福祉課
4	社会福祉法人、NPO法人等への支援	地域福祉を推進するため、社会福祉法人、NPO法人等への支援に努めます。	福祉事業への新規参入を促進するため、必要に応じた支援に努めていく。	継続して実施	市内グループホーム、障害児通所支援事業所等の受け入れ拡大に向けて相談支援を行った。	A		福祉保健部 子ども家庭部 協働推進課
5	障害者団体活動への支援	障害者団体に活動促進のための補助金を交付するとともに、宿泊訓練、レクリエーション、行事等の活動を支援します。	支援方法の充実を図ります。	活動の支援	庁用バスの提供、職員の派遣等 宿泊研修 合同運動会 各々団体総会 施設見学他	A		障害福祉課
6	シルバー人材センターへの支援	「福生市シルバー人材センター」に運営に関する補助金を交付し、高齢者の就業を促進します。	新たな分野の受注を開拓するため、技能修得、研修等の充実に努めていきます。	会員1,000人 受託3,900件	技能修得のため、研修会等への受講は継続して行っている。 会員：790人 受託：3,420件	B		介護福祉課
7	障害者就労支援事業の推進	障害者就労支援事業を実施し、一般就労の促進を図ります。	就労相談員等を配置することにより、就労先の開拓、就労相談、就労後のフォローを実施していきます。	継続して実施	福生市社会福祉協議会に業務委託し実施した。 就労実績：13人 継続支援者：62人	A		障害福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

1 生きがいづくりの推進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	生きがい活動情報の提供	老人クラブ等を通して、趣味や生きがい活動などの情報提供の充実を図ります。	市の施設、社会福祉協議会に生きがい活動情報コーナーを設置するとともに、広報、老人クラブ等を通して趣味や生きがい活動を促進します。	情報提供の充実	広報や老人クラブを通じてイベントや交流会、講座等の情報を随時提供した。	A		介護福祉課
2	高齢者スポーツ・レクリエーション教室の開催	高齢者を対象にスポーツ、レクリエーション、軽体操、踊りなどの教室を開催します。	教室への参加により、自主的な活動の促進を図ります。	継続	【中央体育館】 若草健康体操等6教室実施・全197回・延参加者数2,240人 【福生地域体育館】 ラク楽体操等5教室実施・全218回・延参加者数5,694人 【熊川地域体育館】 ほのほの体操等3教室実施・全137回・延参加者数1,765人	A		スポーツ推進課 (指定管理福生・熊川地域体育館)
3	ゲートボールの普及支援	高齢者の健康づくり、交流の場であるゲートボール場の維持、管理を行います。	誰もが気軽に参加できるよう、利用促進に努めます。	適正な管理	ゲートボール場に砂を補充するなどし、施設の適正な管理に努めた。	A		介護福祉課
4	高齢者スポーツ大会の開催	高齢者がスポーツに親しむ機会を支援することにより健康の増進を図ります。	内容の充実を図り、参加者の利用促進に努め、より多くの高齢者の健康増進を図ります。	参加者数：660人	高齢者スポーツ大会 参加者数：528人	B		介護福祉課
5	生きがい活動支援デイサービス事業	介護予防、閉じこもり防止を目的に、高齢者を対象に趣味活動やレクリエーション、昼食サービスの提供等を行う通所によるデイサービスを行います。	サービス利用体制の充実に努めます。	延利用者数：9,160人	延利用者数：8,272人	A		介護福祉課
6	老人クラブ等への支援	老人クラブの活動、運営、また老人クラブ連合会の指導者研修会等に対し補助金を交付します。	活動の促進を図るため、支援方法の充実に努めます。	25クラブ 会員：2,320人	25クラブ 会員：2,121人	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

1 生きがいづくりの推進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
7	高齢者を対象とした講座等の充実	高齢者の教養を高め、生きがいのある充実した生活ができるように支援します。	高齢者を対象とした講座等の充実に努めます。	4コース・35回 1コース・1回	寿生きがいひろばを実施した。 5コース・41回・延べ参加者数662人 人生うたい語りのつどいを実施した。 1回・参加者数182人	A		公民館
8	高齢者のサークル活動への支援	公民館で活動する高齢者中心のサークルに対して、研修その他諸活動への支援をします。	高齢者のサークル活動については、随時、アドバイス・支援をしていきます。	随時支援	集会室の使用料減免や相談等の支援・助言等を随時行った。	A		公民館
9	成人対象学習講座の充実	成人を対象とした市民文化教室、学習講座、行事等の内容の充実を図り、高齢者の参加を促進します。	高齢者が参加しやすくするよう、講座内容の充実を図ります。	講座・教室（成人・高齢者） 40コース・市民文化教室10コース 行事等14コースを予定	講座・教室（成人・高齢者）51コース・市民文化教室7コース 行事等16コースを実施した。	A		公民館
10	高齢者筋力向上トレーニング事業	転倒、骨折、閉じこもり予防のため、高齢者を対象とした専門的なトレーニングを実施します。	事業内容を検討し、内容の充実に努めます。	継続	【中央体育館】 高齢者いきいき体操：全48回・延参加者数712人 【福生地域体育館】 ころばん塾：全43回・延参加者数1,133人 【熊川地域体育館】 高齢者筋トレ体操：全47回・延参加者数715人	A		スポーツ推進課 （指定管理福生・熊川地域体育館）
11	高齢者就業相談の実施	高齢者を対象にハローワーク（公共職業安定所）、東京都高齢者就業センター・就業相談所・職業相談所との連携により、就業相談を実施します。	関係機関と連携し、高齢者の就業を支援します。	相談の実施	シルバー人材センター、東京しごとセンターの就職支援講習等の紹介を行った。	B		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

2 介護予防の推進

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理由・課題	所管
1	介護予防二次予防事業対象者施策事業	筋力向上トレーニングや口腔機能向上指導、低栄養改善指導を実施することに要介護状態をならないよう、高齢者に対する施策・事業を行います。	筋力向上トレーニング、口腔機能向上指導、低栄養改善指導及び認知症予防教室等を実施することにより、介護予防に努めます。	継続して実施	筋力トレーニング：25人参加 2クール・全24回 口腔・栄養改善：17人参加 2クール・全24回 認知症予防：29人参加 2クール・全24回 【中央体育館】 高齢者いきいき体操：全48回・延参加者数712人	A		介護福祉課 スポーツ推進課
2	機能訓練事業の実施	介護状態となることを防止するため、転倒防止等のための機能訓練を実施します。また、心身の機能が低下した虚弱高齢者を対象に機能訓練を実施します。	地域において、機能訓練を実施し、日常生活上の留意点等を指導します。	事業の実施	個人の身体状況などに応じた機能訓練を柔道整復師会の指導により実施した 実施施設：6施設	A		介護福祉課
3	リハビリテーションの利用促進	寝たきりや閉じこもりを予防するため、脳血管疾患等により機能回復訓練を必要とする高齢者の適切・円滑なリハビリテーションの利用を促進します。	リハビリテーション専門病院、関係団体との連携強化を図ります。	継続して実施	訪問、窓口にて、必要に応じリハビリテーション専門病院等の紹介を行った。	A		介護福祉課
4	公的扶助・年金・手当の周知	制度の周知を図り、対象となるすべての人が年金や各種手当の受給ができるように周知に努めます。	様々な手法により市民へのPRに努めるとともに、相談体制の充実を図ります。	継続して実施	①広報（年22回）、市ホームページで情報提供を行った。 ②国民年金だよりを12月1日に発行し、市内全戸配布を行った。 ③窓口、電話等で年金相談を行った。（窓口相談9,129件、電話相談1,062件、文書相談114件）	A		社会福祉課 障害福祉課 介護福祉課 保険年金課
5	高齢者インフルエンザ予防接種	高齢者のインフルエンザの感染及び重症化を防止します。	接種者の拡大を図ります。	被接種者の増を図る。	接種者：4,754人	A		健康課
6	高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業	高齢者の肺炎の予防や重症化を防止します。	接種者の拡大を図ります。	被接種者の増を図る。	接種者：1,137人	A		健康課
7	高齢者を熱中症等から守る緊急対策事業	高齢者を熱中症から守るため、リーフレットの作成及び熱中症予防講習会を開催。	高齢者に熱中症に対する注意喚起を講習会、リーフレットを通じて行い、市内の熱中症発生の抑制を図ります。	継続して実施	熱中症予防リーフレットの配布	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

3 介護サービスの充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
1	介護サービスの 情報提供	介護サービスの利用にあたり、適切なサービスを選択できるよう、情報を提供します。	公表された第三者評価を活用します。	制度の活用	福生市ホームページ及び東京都ホームページで情報提供した。	A		介護福祉課
2	保健福祉サービスや施設案内の 充実	読みやすい広報誌づくりとともに、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し、保健福祉サービスや施設等の利用案内の充実を図ります。また、情報の入手が困難な市民への支援を強化します。	ホームページの充実を図るとともに、老人クラブ等を対象とした説明会等の開催に努めます。	ホームページの 充実、団体等を通じた周知	「介護保険べんり帳」を作成し全戸配布した。	A		介護福祉課
3	情報ネットワークの 強化	広報やホームページ等による保健福祉情報の提供のほか、行政、関係団体等の情報を高齢者に円滑に届けるしくみづくりを進めます。	保健福祉情報の的確な伝達や市の窓口への問合せを勧めることなどを地域住民や老人クラブ等に依頼します。	提供の強化	保健福祉情報が高齢者に行きわたるよう老人クラブ会長会を通じて情報提供した。	A		介護福祉課
4	高齢者向け住宅の 運営・整備	ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯のための住宅の確保を図ります。	サポート体制の充実等を図ります。	128戸	128戸	A		介護福祉課 まちづくり計画課
5	高齢者用市営住宅の 確保	住宅確保が困難な高齢者のため、市営住宅を確保します。	65歳以上の高齢者用住宅（都営住宅を含む。）を確保します。	住宅の確保	112戸	A		介護福祉課 まちづくり計画課
6	民間住宅への入居 支援	保証人が見つからず民間住宅への入居が困難な人や、手続きを自ら行うことに支障がある人から相談を受け、入居支援を行う事業の実施について検討を進めます。	事業内容を検討し、支援に努めます。	継続実施	担当ケースワーカーが支援した。 また、地域包括支援センターから各機関へ繋げ、支援方法の検討を行った	A		障害福祉課 介護福祉課
7	ケアハウスの設置 誘導	介護利用型の軽費老人ホーム、特別養護老人ホームなどからの退所者の受け皿として、入居希望の動向等を把握し、適切な設置誘導を図ります。	入所希望数等の把握に努め、設置誘導を図ります。	設置検討	入所希望数等の把握に努めているが、高齢者施設も多様化しており、現在のところ、ケアハウス設置要望はない状況である。	B		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

3 介護サービスの充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所管
8	生活支援ハウス整備の検討	高齢者デイサービスセンター等に居住部門を併設又は隣接して整備した小規模な多機能施設で、居室の提供、各種相談・助言、在宅サービスの利用手続の援助、地域住民の交流の場の提供等を行う生活支援ハウス整備を検討します。	事業内容を検討し、施設の整備を検討します。	施設整備の検討	入所希望数等の把握に努めているが、高齢者施設も多様化しており、現在のところ、ケアハウス設置要望はない状況である。	B		介護福祉課
9	高齢者家具転倒防止装置設置事業	高齢者のみの世帯において、家屋の家具に転倒防止装置を取り付けます。	一家具につき1個として、一世帯当たり3個以内とし、4個以上の器具の取付けの希望がある場合は、器具代の自己負担により取付けることができるように配慮します。	10世帯	計画では10世帯であったが、申請のあった全世帯に対して、取り付けを行った。3世帯	B		介護福祉課
10	自立支援住宅改修給付事業	手すりの設置、床段差の解消、床材の変更、引き戸等への扉の取替え、洋式便器等への取替え、浴槽及び給湯設備の改修、流し洗面台の取替えなどを行います。	在宅介護支援センター等の協力を得て、施策の周知と利用促進に努めます。	30件	24件	B		介護福祉課
11	福祉機器の展示	在宅介護支援センター等に福祉機器の展示を行い、その利用についての相談に応じます。	福祉機器をリース、販売する介護サービス提供事業者などの協力を得て、利用の相談に応じます。	展示の継続	在宅介護支援センター・福祉センターで通年実施	A		介護福祉課
12	自立支援日常生活用具給付事業	腰掛便座、入浴補助用具、歩行支援用具、スロープ（傾斜路）、シルバーカー（手押し車）などを給付します。	在宅介護支援センター等の協力を得て、施策の周知に努めます。	40件	入浴補助用具：8件 シルバーカー：23件	B		介護福祉課
13	訪問指導事業	介護認定審査会で自立と判定された方、虚弱高齢者とその家族、療養上保健指導を希望する方を対象に食事や介護、療養方法等の訪問指導を行います。	一人ひとりに応じた適切な指導の充実に努めます。	30人	計画では30人であったが、対象となった全員に対して、指導を行った。14人	B		介護福祉課
14	生活支援ホームヘルプサービス事業	在宅において自立生活の支援を必要とする高齢者に対し、ホームヘルパーを派遣して家事などの支援を行います。	在宅介護支援センターなどを通して施策の周知を図るとともに、利用手続きを支援します。	利用者16人	同様のサービスを介護保険制度でも行っており、当事業の利用は少ない状況である。計画人数は予算措置の人数であり、利用申請があり、該当した方にはすべてサービス提供を行っている。利用者延べ：2人	B		介護福祉課
15	寝具乾燥車派遣事業	寝具の自然乾燥が困難な高齢者に乾燥車を派遣し、高齢者の衛生と健康の維持を図ります。	今後の利用増に対応できる供給体制の確保を図ります。	150件	154件	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

3 介護サービスの充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
16	訪問理美容サービス事業	心身の障害、傷病などにより、理髪店又は美容院に出向くことが困難な高齢者に、訪問理美容サービスを提供します。	在宅介護支援センター等の協力を得て、施策の周知に努めます。	160件	96件	B		介護福祉課
17	高齢者おむつ等助成事業	常時臥床の状態又はこれに準ずる状態の高齢者に、おむつ等の助成を行います。	利用者のニーズに対応するため、事業の実施方法等について検討します。	継続実施、助成内容の検討	生活保護者を除く要介護3以上の申請者におむつ等を支給した対象者数：227人	A		介護福祉課
18	配食サービス事業	食事の調理が困難な高齢者を対象に、ボランティア等が食事を配達し、安否を確認します。	安全な配食を実施するため、施設設備の改善とボランティアの確保を図ります。	7,280食	6,899食	A		介護福祉課
19	高齢者歯科健康診査	日頃歯科医院に行く機会のない高齢者を対象に、歯科健康診査を実施します。	歯の健康についての認識を高め、健康寿命の延伸を図ります。	継続実施	受診者：510人	A		健康課
20	地域包括支援センター事業の展開	高齢者の介護予防から見守り、地域ケアまで総合的に推進する拠点として日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置し、地域の高齢者のニーズに応じた適正かつ有効な事業の展開を図ります。	圏域の設定について、地域包括支援センターの機能強化を含め、検討を進めます。	相談件数 6,100件	福祉センター内に委託型地域包括支援センターを開設 【相談件数】11,092件 地域包括支援センター福生：6,801件 地域包括支援センター熊川：4,291件	A		介護福祉課
21	在宅介護支援センター事業の充実	地域における高齢者の実態把握に努め、保健福祉サービス申請等の代行や相談・助言等を行います。	関係機関、関係者との連絡調整及び情報交換の強化や、介護予防活動の充実に努めるとともに在宅介護支援センターのあり方について検討を進めます。	相談件数 20,000件	在宅介護支援センターの専従職員を1名から2名に増員し、相談体制の充実を図った。 相談件数：21,611件	A		介護福祉課
22	福祉センター機能の充実	地域における高齢者の「生活の質」向上への支援拠点として役割を果たすよう、機能やプログラムの充実を図ります。	高齢者の生活相談、健康の増進、サービス提供の充実等に努め、福祉活動団体の育成、地域住民等の施設利用を促進します。	高齢者サービス等延利用者 71,500人	高齢者サービス等延利用者：70,056人	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

3 介護サービスの充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所管
23	家族介護支援事業	介護をになっている家族に対して、介護方法、健康づくり等についての知識、技術の習得を目的とした教室を開催します。また、介護をになう家族のレスパイトを行い、心身のリフレッシュを図ることを目的に、ショートステイ制度を活用するなどの配慮を加えながら旅行会や介護者相互の交流会を実施し、参加者を支援します。	民生委員・児童委員、ホームヘルパー、老人福祉施設等のネットワークによる効果的な支援に努めます。	参加者170人	社会福祉協議会を中心とした3つの在宅介護支援センターによって、家族介護教室を実施した。 年4回実施・参加者71人 介護者相互の交流会（オレンジカフェふっさ）を実施した。 年6回開催・参加者52人	B		介護福祉課
24	生活支援ショートステイ事業	基本的な生活習慣の欠如、対人関係が成立しないなど社会適応が困難な高齢者に、短期間の宿泊により日常生活に対する指導・支援を行い、要介護状態への進行を予防します。	在宅介護支援センター等の協力を得て、施策の周知に努めます。	延33日	同様のサービスを介護保険制度でも行っており、当事業の利用は少ない状況である。計画日数は予算措置の日数である。 平成27年度においては利用申請が無かった。	B		介護福祉課
25	移送サービス事業	移送サービスを必要とする人のために、運転ボランティアの協力を得て車いす専用車（ハンディキャブ）を運行します。	運転ボランティアの確保、貸出車両の増設を図るとともに、新たな手段の追加を検討します。	延利用者600人	市内高齢者に対し、制度の普及活動を実施した。また、計画人数は予算措置の人数であり、利用申請があり、該当した方には、すべてサービスを提供している。 運転ボランティア数：21人 延利用者数：205人	B		介護福祉課
26	車いす専用車の貸出し	歩行困難な高齢者等が外出に際して、家族や知人に車いす専用車（ハンディキャブ）を貸し出します。	民生委員・児童委員、障害者団体、老人クラブ等を通して施策の周知を図ります。	60件	57件（障害者を含む。） 貸出車両：2台	A		介護福祉課
27	地域での高齢者ミニデイサービスの実施	市の施設や町会会館、空き家、空室等を活用し、高齢者を対象とした地域でのミニデイサービスを実施します。	実施方法を工夫し、地域の中で高齢者が楽しみに集うことができる事業を展開します。	事業の継続	扶桑会館、第2市営住宅で実施 年間回数：76回 延利用者数：518人	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

4 認知症ケアのネットワークの充実

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの理由・課題	所管
1	認知症ケアのネットワークの強化・充実	認知症を予防し、また発症した場合の進行を遅らせるため、認知症への対応、認知症ケアについてのネットワークの確立と強化・充実を進めます。	在宅介護支援センター機能等も考慮し、事業内容を検討し、情報交換、交流ができる体制整備を図ります。	体制整備	個々の意識を高めるため認知症サポーター養成講座を、職員、市民、企業向けに実施し、体制整備の準備を進めた。 講座実施回数：年10回 受講者数：465人	A		介護福祉課
2	徘徊高齢者家族支援サービス事業	位置探索システム専用端末機を貸与することにより、認知症等の高齢者が徘徊して行方不明になった場合に、現在位置を速やかに特定するなどの家族支援を行います。	広報及び民生委員・児童委員、ホームヘルパー等の協力を得て、施策についての周知を図り、利用の促進に努めます。	5件	市内高齢者に対し、制度の普及活動を実施した。 計画件数は予算措置の件数であり、利用申請があり、該当した方には、すべてサービスを提供している。 3件	B		介護福祉課
3	認知症高齢者グループホームの誘致	認知症の高齢者が家庭的な雰囲気の中で、少人数のグループで生活することができるグループホームの設置誘導に努めます。	入所希望数等の把握に努め、設置誘導を図ります。	設置誘導	入所希望数等の把握に努めた。	A		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

5 高齢者を対象とする犯罪等からの保護

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
再掲 1	安全・安心なまちづくりの推進	犯罪防止のための地域における自主的な活動の推進、学校等における安全の確保等総合的に施策を展開し、市民が安心して生活できる環境の整備を図ります。	34の町会・自治会によるパトロールを実施していきます。	33の町会・自治会によるパトロールを実施する。	29の町会・自治会によるパトロールを実施した。	B		安全安心まちづくり課
再掲 2	交通安全教育の推進	地域や団体、事業所等における交通安全思想の普及・徹底を図り、学校・保育園等での交通安全教育を推進します。	交通安全運動の充実、地域や学校・保育園等での交通安全教室の定期的な開催を図ります。	交通安全講習会を実施し、33町会・自治会による交通安全の推進、中学生への交通安全教室の開催をする。	9月と3月に交通安全講習会を実施。春、秋の交通安全運動期間中に30町会・自治会によるテントの掲出。6月8日（月）に福生第三中学校において、スクエアード・ストレート方式による交通安全教室を実施。	A		安全安心まちづくり課
（再掲） 3	訪問販売等悪質商法取引等への対応	訪問販売等悪質商法取引等による被害を防止するとともに、購入契約等を結んでも解約できることや相談体制があることを、高齢者世帯等に周知します。	市の広報や老人クラブ等を通して、高齢者等に情報を提供します。	情報提供の充実	敬老大会及び老人クラブ会長会、健康まつり等を通して、高齢者にパンフレット配布等による情報提供を行った。 配布数：約1,200枚	A		介護福祉課
（再掲） 4	緊急通報システムの充実	ひとり暮らし等の高齢者に専用無線発報器を貸与することにより、緊急事態に陥ったとき消防庁へ通報するとともに、地域の協力員の援助を受け、救急車による病院への搬送に対応します。	制度の普及に努めるとともに、協力ボランティアの確保に努めます。	高齢者：25台	高齢者及び障害者に対し、制度の普及活動を実施した。 計画の台数は予算措置分の台数であり、該当する全ての利用申請者に対して設置した。 高齢者：12台	B		介護福祉課
（再掲） 5	火災安全システムの整備	緊急通報システム機器に住宅用火災警報器を接続することにより、火災の発生を東京消防庁に自動通報するシステムを、高齢者のみ宅に設置します。	利用対象者を把握し、火災安全システムの整備を図ります。	高齢者：5台	高齢者及び障害者に対し、制度の普及活動を行った。 計画の台数は予算措置分の台数であり、該当する全ての利用申請者に対して設置した。 高齢者：火災警報器1台（電磁調理器1台）	B		介護福祉課

第4期福生市地域福祉計画進捗状況調査一覧

第4節 高齢者が、住み慣れた地域で、安心して心豊かに生活できるまちづくり（福生市高齢者福祉計画）

5 高齢者を対象とする犯罪等からの保護

No	事業名	事業内容	事業の進め方	計画 27年度	実績 27年度	評価 27	27評価C・Dの 理由・課題	所 管
再掲 6	災害時の要援護者支援体制の整備	消防署、消防団、警察署、民生委員・児童委員、地域住民、ボランティア等と連携し、災害時要援護者の把握に努め、支援体制を整備していきます。	災害時要援護者の把握に努め、体制を整備します。	個人情報の更新、蓄積を行い、災害時に備える。	要援護者システムへの入力作業を行い、情報の更新を行った。	A		安全安心まちづくり課
(再掲) 7	虐待防止のネットワークづくり	高齢者への虐待の防止と早期発見・早期対応を目指し、関係機関との連携による虐待防止のネットワークづくりを進め、確立・強化します。	関係機関連絡会等を随時開催し、虐待の防止のネットワークづくりを進めます。	高齢者虐待防止連絡会議を開催	識見を有する者、介護サービス事業者など、13人の委員で構成された高齢者虐待防止連絡会議を実施（1回）し、福生市の高齢者虐待の現状についてなどの報告を行った。	A		介護福祉課